

史跡富田城跡整備事業

イベント前には新たな曲輪を公開

くるわ

市の大型事業について定期的にお知らせしているシリーズ「新しいまちを創る」。今回は、安来庁舎周辺工事・防災公園整備事業と、秋に開催される大型イベントに向けて関連工事が進む富田城跡整備事業について紹介します。

安来庁舎周辺は

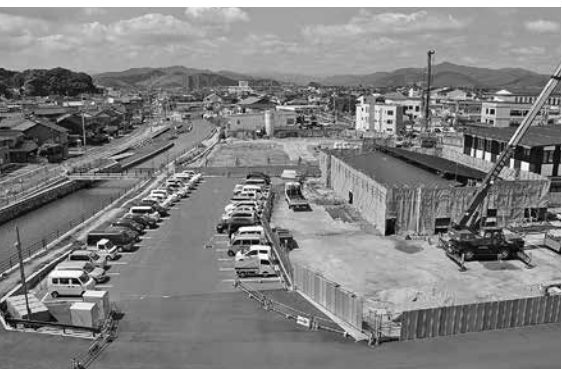
さらに整備が進みます

安来庁舎の正面玄関前には市の花である「桜」を9本、植栽しました。春には、庁舎を訪れた人々を桜が迎えてくれることでしょう。

昨年7月から業務を開始している安来庁舎ですが、周辺では引き続き工事が続いています。庁舎西側では、車庫棟や公衆ト



▲正面玄関前の桜の植栽。背景に見えるのが車庫棟になります。



▲建設が進む防災棟。

イレ、駐車場の整備が進み、7月下旬には完成予定です。

車庫棟は公用車の格納と倉庫などに使用します。終日利用できる公衆トイレは、車イス等で使用できる多目的トイレを完備。近くには公衆電話と水飲み場をあわせて整備しています。

駐車場は134台分を確保。これまでの倍以上の駐車が可能になり、市民の皆さんの利便性

が向上します。また、北側にある国道9号側との出入り口は3車線分に幅を広げ、安全に行き来できるようにしました。歩行者用の歩道も幅が広くなり、市役所前のバス停留所も新設しました。

一方、安来庁舎の南側では防災公園の整備が始まっています。約0.4haの土地に防災棟や防災広場などを整備する計画です。この広場は震災時の一時的な避難施設になります。普段は公園として利用いただけますが、防災パーゴラ（普段は日陰棚で、有事には供給物資の一時保管倉庫等に利用）やかまどベンチ（有事には炊き出し用かまどに利用）、マンホールトイレなどを整備して緊急時に備えます。

現在は、防災棟の建築工事が進められており、平成30年度末



▶間もなく完成する車庫棟。手狭だった駐車場は、134台分を確保しています。平成27年度から始まった安来庁舎建設工事は今年度で終了します。





◀千畳平から北側へ突き出た馬乗馬場。幅約10m長さ約120mの細長い曲輪には、近世以前の石垣が部分的に確認できるようになりました。また、馬乗馬場の東側谷の最奥（山中鹿介祈月像の背後部分）にも防御のための石垣を見ることができます。整備後には馬乗馬場の散策が可能になります。

に完成予定です。

全国規模の大会に向け 関連施設を含めて整備

月山富田城跡周辺では今秋、全国山城サミット安来大会と戦国尼子フェスティバルを開催します。期間中は多くの皆さんが訪れることが予想されます。

平成27年から5カ年計画で整備を進めている富田城跡整備事業。今年度は多くの皆さんが富田城跡の魅力に触れてもらえるよう関連施設を含めて事業を進めていきます。

城跡では、木々の伐採であらわになった馬乗馬場や千畳平を中心に整備しています。馬乗馬場では、皆さんに散策していただけるよう転落の注意喚起柵の設置や石垣の保護を進めています。また、広瀬絣センター後ろから千畳平へ続く園路改修を行っています。これらの工事は、今秋のイベント前には終える予定です。当日には多くの皆さんに城の遺構を体感しながら散策していただけます。

一方、麓にある歴史資料館は平成31年度完成に向けて改修し、1階にはガイダンス（紹介）機能を持たせる計画です。富田城跡の歴史や魅力の紹介などが行えるようパネルなどを展示



▲広瀬絣センターは富田城跡整備事業に合わせて改修等を進めています。



▲歴史資料館の1階を改修しガイダンス機能を設備します。

し、休憩所としても利用できるようにしていきます。

また、歴史資料館に隣接する広瀬絣センターは、観光客のおもてなし向上のため、改装工事に着手。飲食店入居のための整備や、お土産品販売の充実を図っていきます。

富田城の最前線の曲輪である馬乗馬場や千畳平を下から眺めると、その攻めにくさがよく分かります。急峻な地形を巧みに利用した要害である同城。多くの皆さんに日本一の山城と評される所以を体感していただくため、引き続き整備を進めます。

イベントの告知 ポスターが完成

全国山城サミット安来大会と戦国尼子フェスティバルのポスターは2連式。右側がサミット、左側がフェスティバルで単体としても使用可能です。